

# 平成29年度地域国際化ステップアップセミナー in TOHOKU

## ソーシャルビジネスを地域ブランドに、復興とSDGs

～地元の強みを活かした持続可能なまちづくりと国際協力の輪～

SDG 11: Sustainable cities and communities



THE GLOBAL GOALS  
For Sustainable Development



■ 日 時:平成29年9月22日(金) 13:30～17:30

※セミナー終了後、別会場にて懇親会を予定しています。(受付13:00開始)

■ 会 場:エル・ソーラ仙台 28階 大研修室

### ■ プログラム

第一部 13:30-15:45

13:30-13:40

開会

(一財)自治体国際化協会

13:40-14:20 ◇特別ゲスト講演

## 「ミガキイチゴ-インドプロジェクト」

GRAグループ 新規事業兼海外事業リーダー  
渡辺 周 氏



GRAは、ICTを活用したイチゴ生産で震災復興を目指しています。

GRAがICTを活用した生産システムを開発する目的は、自社のみならず周辺の生産者への普及を図ることで地域の復興につなげることです。

さらに、周辺地域だけでなく海外への普及も視野に入れ、2012年秋、インドの貧困地域・ブネ(マハラシュトラ州)でICTを活用したイチゴの(試験)栽培を始め、貧困地域に女性の就労機会をつくりました。

本セミナーでは、日本の技術によって、どのようにインドの富裕層・中間層向けに大粒で甘いイチゴを戦略的に生産・販売し、「ジャパンブランド」としての浸透が図れたのか、また地域(山元町)にどのようなメリットをもたらしたのかをお話頂きます。

14:30-15:30

事例紹介(各20分)

◇事例紹介Ⅰ: 宮城県 丸森町

「ザンビアとまるもりまちの技術協力から、地域づくり」

耕野振興会 石塚 武夫 氏

◇事例紹介Ⅱ: 島根県 邑南町

「地域発信の国際協力を目指して～邑南町モデル」

(一社)コミュニティパートナーズ 理事 NPO法人ピースウインズ・ジャパン 東村 康文 氏

◇事例紹介Ⅲ: 佐賀県

「ふるさと納税を活用したCSOとの連携・協働による持続可能な社会づくり」

(公財)佐賀未来創造基金 副理事長 横尾 隆登 氏

15:30-15:45

質問用紙回収・休憩

第二部 15:45-17:30

15:45-17:20

◇パネルディスカッション

(特活)せんだい・みやぎNPOセンター事務局長 青木 ユカリ 氏

17:20-17:30

閉会

(独)国際協力機構 東北支部 (JICA東北)

17:45-19:15

セミナー終了後に別会場にて懇親会を予定しています。(実費:3,500円程度)

## < 開催趣旨 >

昨今、自然環境、貧困、高齢者・障がい者の介護・福祉から子育て支援、まちづくりなど多種多様な社会課題が地域で顕在化しつつあります。更に社会課題の多様化・複雑化により自治体単独による解決およびボランティアの限界もあることから、NGO/NPOや企業などマルチステークホルダーが協力しビジネスの手法を活用して取り組む、地域課題を解決するコミュニティビジネス（CB）／地域課題に加えて社会全般や国際問題までを含む社会全般の課題解決事業であるソーシャルビジネス（SB）が全国で注目されています。

2015年に150を超える加盟国首脳に参加のもと国連本部で採択された、『2030アジェンダ 持続可能な開発目標（SDGs）』〔注1〕のゴール11では「都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする」と定められており、住み続けられる持続可能なまちづくりの構築は世界共通の課題であると言えます。

本セミナーでは、復興/地域活性化と国際社会の課題解決を共に考え、地域のブランド化促進を目指す機会とします。

〔注1〕 持続可能な開発目標（SDGs）2015年9月25日、ニューヨークの国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」で国家首脳を含む150か国以上のリーダーたちによって採択された。2000年から15年間、国際社会が取り組んできた「ミレニアム開発目標（MDGs）」が2015年末に達成期限を迎えることを受け、SDGsは2016年から15年間の次の国際的な目標となる。

## < 講師紹介 >

### ■ GRAグループ 新規事業兼海外事業リーダー 渡辺 周 氏

光学機器の設計や海外技術営業、製造業向けコンサルタントに従事した後、2013年からはインドでのイチゴプロジェクト立ち上げ、国内外の農業戦略策定や事業立ち上げに取り組む。社会課題解決を起点としたビジネス創造をミッションとして活動している。NECAgriTech事業開発室 マネージャー兼任、グロービス経営大学院（MBA）卒



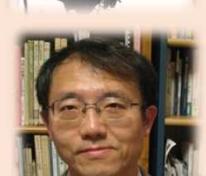
### ■ 耕野振興会 石塚 武夫 氏

千葉県出身。大学卒業後、鹿児島県の養蜂農家で、2年間養蜂の見習いを行う。その後1997年3月に丸森町耕野地区に移住し、「石塚養蜂園」を営む。また、耕野地区の自治組織「耕野振興会」の役員の一員として、地区の事業の実施に関わっている。



### ■ 一般社団法人コミュニティパートナーズ理事 / NPO法人ピースウィンズ・ジャパン アジア地域マネージャー 東村 康文 氏

1990年以来、NGOスタッフとして、アジアで、職業訓練、農村開発プロジェクトなどの地域開発に携わる。海外でのプロジェクトの活動の一環で、日本での招聘研修と、日本の地域の人材による専門家派遣を通じて、地域による国際協力の可能性をさぐっている。自宅のある島根県邑南町で、地域づくりと国際協力の団体の理事もつとめる。



### ■ 公益財団法人佐賀未来創造基金 副理事長 / NPO法人Succa Senca 代表 横尾 隆登 氏

1976年佐賀県佐賀市出身。2010年ソーシャルビジネスをきっかけにNPOについて学ぶ。2011年特定非営利活動法人佐賀県CSO推進機構に所属し、市民活動の重要性を知る。2013年コミュニティファンド公益財団法人佐賀未来創造基金の立ち上げに加わり現在、副理事長を務める。現在、生産者の顔が見えるような消費者との繋がりをつくる事を目的としNPO法人Succa Senca（すっか、せんか）代表として「SAGA食べる通信」を発刊している



### ■ 会 場:エル・ソーラ仙台 28階 大研修室

〒730-0051 仙台市青葉区中央1丁目3-1アエル 28階 Tel: 022-268-8041

JR: 仙台駅から徒歩2分、地下鉄: 仙台市営地下鉄南北線・東西線仙台駅から徒歩4分

アクセス: ([http://www.sendai-l.jp/whats\\_ls/](http://www.sendai-l.jp/whats_ls/))

### ■ 対 象: 50名 (先着順。定員になり次第終了)

自治体職員・地域国際化協会職員、  
NPO/NGO関係者、その他関心のある方(企業、学生、および一般市民)

### ■ 参加費: 無料

### ■ 申込方法: 下記URLより申込フォームへご入力ください

URL: <http://bit.ly/2v5gWtc>

### ■ お問い合わせ: 市民国際プラザ 担当: 渡邊

Email: [international\\_cooperation@plaza-clair.jp](mailto:international_cooperation@plaza-clair.jp), Tel: 03-5213-1734



★情報セキュリティ上、申込フォームをご利用頂けない方へ

①～⑤を記載の上、[international\\_cooperation@plaza-clair.jp](mailto:international_cooperation@plaza-clair.jp)宛にお申し込みください。

①件名【9/22自治体連携セミナー参加申込】

②お名前(ふりがな) ③ご所属 ④ご連絡先(TEL,E-mail)

⑤懇親会参加の有無

主 催: (一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

共 催: (独)国際協力機構 東北支部(JICA東北)、(公財)宮城県国際化協会(MIA)

後 援: 宮城県、仙台市、(公財)仙台観光国際協会(SenTIA)、(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)

企画・運営協力: (特活)せんだい・みやぎNPOセンター